

海外友好クラブとの交流 & 協同奉仕活動

1. 台北新都扶輪社の紹介（概要・交流経緯）
2. グローバル補助金事業の概要
3. 元米山奨学生（黄照津さん）との交流

2023年9月2日 ホテル金沢

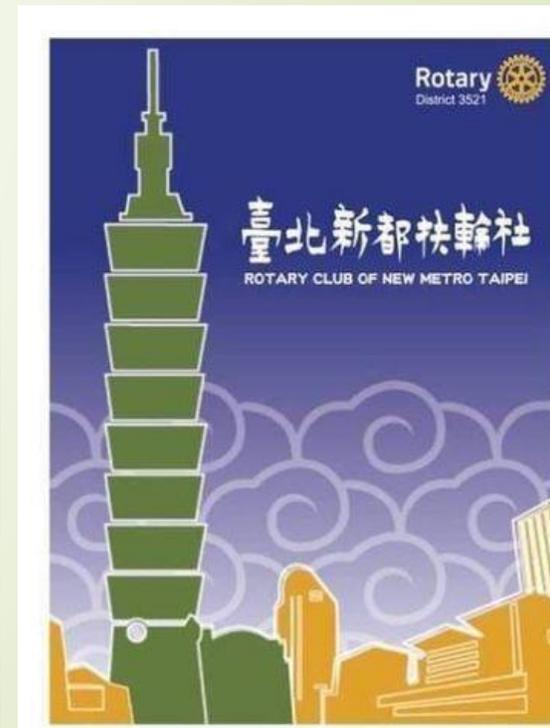
2610地区 国際奉仕・ロータリー財団 合同クラブ委員長会議

河北南ロータリークラブ

2023~2024会長 岡田 等

台北新都扶輪社の紹介 【概要】

- クラブ名：台北新都扶輪社（第3521地区）
- 創立年月：2013年1月
- 会員数：23名（男性：11名、女性：12名、平均：57歳）
- 例会場：寒舎艾麗酒店（ハンブルハウス台北） 台北市信義區松高路18号
- 例会日時：毎月第1、3週の金曜日 12:00~14:00



友好クラブ交流の経緯

- 2015年10月 海外友好クラブ提携意思表示（中川可能作 P G 仲介）
- 2015年11月 台北新都 R C へ初訪問（3名 調査訪問）
- 2016年4月 勝崎館にて友好クラブ調印式 & 祝賀会
（林宏達会長はじめチャーターメンバー5名出席）
- 2016年6月 日台親善大会(金沢)で3520地区ガバナー林華明夫妻と交流
- 2016年11月 台北新都 R C へ訪問交流（飯田会長はじめ会員多数）
- 2017年4月 河北南創立20周年記念式典（台北新都 R C 会員多数）
- 2018年3月 日台親善大会(台湾)の後、訪問交流（下口ガバナーチーム同行）
- 2019年5月 台北新都 R C 創立6周年記念式典訪問（岡田）
- 2022年3月 台北新都 R C グローバル補助金(G G)事業申請手続き開始**
- 2023年5月 友好クラブ協力金（3,150 USD）納付完了**
- 2023年11月 台北新都 R C 訪問（例会参加 & DDF事業視察・参画）**



2015年10月 初訪問



2016年4月 調印式



2016年4月 懇親会



2016年11月 表敬訪問



2017年4月 河北南20周年懇親会



2018年3月 日台親善大会(メーキャップ)

グローバル補助金事業の概要 【経緯】

台北新都 R C は、2013年創立以来、地域社会で深刻化しつつある聴力障害者増加に伴う問題に着目。これを改善すべく難聴者福祉協会に対し聴力検査設備付き自動車を寄贈し、地域住民(高齢者)を対象に、聴力検査と早期治療促進の支援活動を主力の社会奉仕事業として継続実施している。



グローバル補助金事業の概要 【経緯】

2020年11月には、桃園県のロータリークラブとも協力しあい、聴力検査とヒアリングカーツアーを開催した。地元の病院と共に、4つの無料健康診断を共同開催し、愛の献血にも参加。この事業は、地域で大きな好評を得た。



グローバル補助金事業の概要

【意義・目的】

台湾国内で高齢化問題は、地方都市でより深刻な状況である。特に、過去に炭鉱で栄えた台湾新北市東部の僻地(平西、平林、桑西地区)の住人の多くは独居老人で難聴者の割合が高い。加齢とともに症状が悪化し、それがコミュニケーションの障壁となり社会的孤立や憂鬱を誘発、家庭生活の安全上の懸念が深刻化している。

この状況を改善すべく、台北新都R Cは、これまで取り組んできた事業ノウハウを活かし、各種医療機関や保健所・市民センターと連携し、聴力検査設備や補聴器等の寄贈ほか、検査・治療を促進する定期的キャンペーンや送迎支援等を行い、難聴者の早期治療・予防を啓蒙することにより、独居老人の孤独対策及び将来起こり得る社会不安の解決・抑制を図る。

グローバル補助金事業への概要

【資金調達】

資金調達明細						145
No	出処	明細	額 (U S D)	管理費	合計	参考 (円)
1	地区指定基金	3521地区	5,000	0	5,000	725,000
2	地区指定基金	3630地区	5,000	0	5,000	725,000
3	現金	河北南 R C	3,000	150	3,150	456,750
4	現金	台北新都 R C	27,000	1,350	28,350	4,110,750
	合計		40,000	1,500	41,500	6,017,500
	世界基金	国際 R 財団	8,000	0	8,000	1,160,000
	総計		48,000	1,500	49,500	7,177,500

グローバル補助金事業の概要

【支出内容】

グローバル補助金事業支出明細			
No	種類	説明	費用(USD)
1	設備・器具	聴力検査関連施設・設備費用	23,000
2	体験セッション	補聴器試着サービス料 年間60回分	4,000
3	体験セッション	1人暮らしの低所得の高齢者に16~20台の補聴器を寄贈	16,000
4	体験セッション	年間60回分の補聴器メンテナンス料金	2,000
5	広告宣伝	プロモーション料金	1,000
6	輸送・管理	給油料、高速道路料、その他手数料	2,000
			48,000

グローバル補助金事業の概要

【経過状況と苦労話し】 ※LINE原文

経験がないため、資料の記入や計画内容の準備、リソースのマッチングなどは前年度から始めました。RIの仕様やテーマには毎年微調整を加えていますが、この点は不注意でしたので、**最新のRIの仕様**に準拠していないため、一部のコンテンツや資料が**知らないうちにRIシステムにアップロードされ**、RIからの返信に多くの時間が無駄になりました。プロジェクトコンテンツの詳細に関するRIの提案を再準備し、改善するには時間がかかりましたが、幸いにも最終的には年末までに承認されましたが。

グローバル補助金を検討される皆様に、参考までにこの経験を共有します。

1. サービス計画は、必ず**RI仕様に従って記入**する必要があります。
2. オンラインで記入する場合は、**最新の改訂仕様書**に注意してください。
3. 注記の情報については、必ず**最新のフォーム**をご確認ください。
- 4 外国姉妹RCの地域協力金については、**外国地区の何RCも参加**させ、例えばDDDF利用し、最大限の効果を発揮させて頂ければ、ベストです。
5. 他RCの経験から、一度で申請を通過させることは非常に困難であるため、通常は**RIがアドバイスを提供**します。したがって、RIからの質問を受けて、**検討するための時間と貴RCが計画内容を修正するための時間を確保**する必要があり、計画内容の修正期間として**数か月程度確保**することを強くお勧めします。

グローバル補助金事業への協力 【訪問交流 & 共同奉仕活動】

訪台期間：2023年11月1日(水)～5日(日)

訪台人数：22名（会員16名、家族6名）

スケジュール：11月2日(木)元米山奨学生との交流

11月3日(金)台北新都R C例会・懇親会

：11月4日(土)D D F 奉仕活動に参加

場所：新北市平溪區

作業内容：聴力健康講座と聴力検査の執行

元米山奨学生との交流

氏名：黄照津（こう しょうしん）さん

経歴：1984年 台湾台北市生まれ

2018年 金沢美術工芸大学大学院美術工芸研究修了

2019年 台湾国立清華大学助理教授

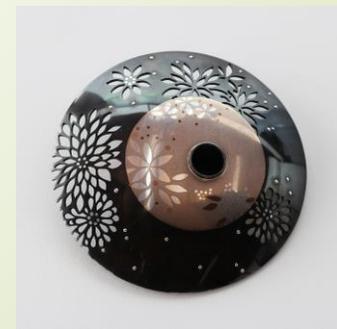
2022年 台湾国立台北教育大学専任助理教授

作品：色金（合金）を用いた象嵌加飾。

独自の表現を求め、象嵌技法のほか、透かし彫り技法や腐食技法など多様多様な装飾技法の融合表現を得意とした器物は、国内外で高い評価を受けている。



今回、職場訪問&新都RC懇親会にも参加頂きます。



国際交流を楽しんで参ります！！

ご清聴ありがとうございました。



2016年11月 訪問「手にてつないで♪」



2019年5月
黄照津さんご両親と



2019年5月 台北新都R C 6周年記念